

## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月8日

上場会社名 WDBココ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7079 URL <https://www.wdbcoco.com/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 谷口 晴彦  
問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 藤原 素行（TEL）03-5144-2250  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,596	20.3	671	24.0	672	24.4	459	24.4
2024年3月期中間期	2,157	9.2	540	2.9	541	2.5	369	4.2
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期中間期	191.13		—					
2024年3月期中間期	153.78		153.60					

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	4,863	3,842	79.0
2024年3月期	4,658	3,563	76.5

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 3,842百万円 2024年3月期 3,563百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	5,011	9.0	1,050	△17.5	1,050	△17.5	703	△18.0	292.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期中間期	2,405,000株	2024年3月期	2,405,000株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年3月期中間期	148株	2024年3月期	121株
-------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	2,404,873株	2024年3月期中間期	2,402,207株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
中間会計期間 .....	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

医薬品開発にあたっては、10年以上の年月と数百億円～数千億円の巨額の費用がかかります。さらに、技術革新によって低分子医薬品からバイオ医薬品、遺伝子治療薬など治療手段が多様化・複雑化しており、創薬の難易度が一層高まっています。その結果、新薬開発の成功確率は約2万3千分の1にまで低下しており、製薬企業は、特許の有効期間が切れるまでの間に、巨額の研究開発費を効率よく回収することが一層重要となっています。

このような厳しい環境のなか、製薬企業は医薬品の価値を最大化するために製造販売後の育薬活動を強化しています。具体的には、臨床現場における安全性に関する情報を収集することで医薬品の適正使用を促進しています。また、製造販売後に様々な調査や試験を実施することで、有効性・安全性がより高い医薬品に改良するとともに、適応の追加や剤型の変更などによって新たな特許を取得しています。さらに、医師が行う臨床研究に協力することで、上市した医薬品を用いた新たな治療法の創出や、既存の治療法における有効性の証明といった育薬活動を行っています。これらの育薬活動の成果を最大化し、開発から育薬までのコストを最小化することが製薬企業にとっての課題となっています。

このような状況の中で当社は、開発・製造販売後の段階に至るまで、製薬企業の課題解決を支援するために「安全性情報管理」を主軸に、「製造販売後調査支援」、「ドキュメントサポート」、「臨床研究支援」といったサービスを展開しています。各サービスにおいては、従来のオペレーション型サービスの強化に加え、標準化・自動化を推進し、新しい業務プロセスを導入することで、製薬企業の課題解決に貢献しています。

当中間会計期間においては、これらの安全性情報管理、製造販売後調査支援、ドキュメントサポートの各サービスにおいて、既存顧客からの追加受託案件を稼働したほか、稼働を開始した複数の新規顧客からの受託案件、ならびに2023年6月15日付けで吸収合併したWDB臨床研究株式会社における臨床研究支援サービスの売上が寄与しました。また、新規案件の稼働に伴い採用を強化したこと、ならびに受注の拡大に必要な人員の確保のために給与水準の見直しを行ったことから、売上原価が増加いたしました。

この結果、売上高は2,596百万円と前年同期比438百万円(同20.3%)の増収となりました。営業利益は671百万円と前年同期比130百万円(同24.0%)の増益、経常利益は672百万円と前年同期比131百万円(同24.4%)の増益、中間純利益は459百万円と前年同期比90百万円(同24.4%)の増益となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当中間会計期間における流動資産は4,207百万円と前事業年度末比147百万円(3.6%)の増加となりました。主な要因は、現金及び預金403百万円の増加、売掛金及び契約資産182百万円の減少によるものです。固定資産は656百万円と前事業年度末比57百万円(9.7%)の増加となりました。主な要因は、投資その他の資産65百万円の増加によるものです。この結果、資産合計は4,863百万円と前事業年度末比204百万円(4.4%)の増加となりました。

##### (負債)

当中間会計期間における流動負債は826百万円と前事業年度末比101百万円(11.0%)の減少となりました。主な要因は、未払金81百万円の減少によるものです。固定負債は194百万円と前事業年度末比27百万円(16.6%)の増加となりました。主な要因は、資産除去債務17百万円の増加によるものです。この結果、負債合計は1,021百万円と前事業年度末比74百万円(6.8%)の減少となりました。

##### (純資産)

当中間会計期間における純資産は3,842百万円と前事業年度末と比べ279百万円(7.8%)の増加となりました。これは主に、中間純利益459百万円の計上、配当の支払180百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物は3,061百万円と前事業年度末と比べ403百万円(15.2%)の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは677百万円の収入となりました。これは主に、税引前中間純利益672百万円の計上による資金の増加があったものの、法人税等の支払い237百万円などの資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間末における投資活動によるキャッシュ・フローは86百万円の支出となりました。これは主に、敷金及び保証金72百万円の差入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間末における財務活動によるキャッシュ・フローは187百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払い180百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日付「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において公表しました業績予想に変更はありません。なお、将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在なリスクや不確実性を含んでいます。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,658,578	3,061,580
売掛金及び契約資産	1,271,035	1,088,652
仕掛品	1,950	4,364
その他	128,747	52,758
流動資産合計	4,060,312	4,207,356
固定資産		
有形固定資産	136,150	141,314
無形固定資産	239,136	226,459
投資その他の資産	223,248	288,698
固定資産合計	598,535	656,472
資産合計	4,658,848	4,863,828
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	76,944	93,131
未払法人税等	261,032	229,137
賞与引当金	117,992	141,356
受注損失引当金	2,839	6,658
その他	469,791	356,400
流動負債合計	928,600	826,683
固定負債		
退職給付引当金	109,055	123,393
資産除去債務	38,741	56,398
その他	18,843	14,576
固定負債合計	166,640	194,367
負債合計	1,095,241	1,021,051
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	279,983	279,983
資本剰余金	279,983	279,983
利益剰余金	3,004,108	3,283,395
自己株式	△467	△583
株主資本合計	3,563,606	3,842,777
純資産合計	3,563,606	3,842,777
負債純資産合計	4,658,848	4,863,828

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,157,680	2,596,006
売上原価	1,291,424	1,559,810
売上総利益	866,255	1,036,195
販売費及び一般管理費	325,306	365,173
営業利益	540,948	671,022
営業外収益		
受取利息	10	240
その他	113	1,684
営業外収益合計	124	1,925
営業外費用		
支払利息	66	68
営業外費用合計	66	68
経常利益	541,006	672,879
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	2,489	—
特別利益合計	2,489	—
特別損失		
固定資産除却損	2,701	—
特別損失合計	2,701	—
税引前中間純利益	540,794	672,879
法人税、住民税及び事業税	144,296	206,020
法人税等調整額	27,094	7,206
法人税等合計	171,390	213,226
中間純利益	369,403	459,652

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	540,794	672,879
減価償却費	15,579	27,475
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,000	23,364
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,629	14,337
受注損失引当金の増減額(△は減少)	876	3,818
受取利息	△10	△240
支払利息	66	68
売上債権の増減額(△は増加)	△54,904	182,383
棚卸資産の増減額(△は増加)	△268	△2,413
仕入債務の増減額(△は減少)	3,493	16,186
未払金の増減額(△は減少)	△89,264	△81,373
その他	△42,797	58,115
小計	395,193	914,602
利息の受取額	10	240
利息の支払額	△66	△68
法人税等の支払額	△175,547	△237,354
営業活動によるキャッシュ・フロー	219,590	677,420
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△14,820	△4,474
無形固定資産の取得による支出	—	△9,415
敷金及び保証金の差入による支出	△4,590	△72,656
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,411	△86,545
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△6,372	△7,348
株式の発行による収入	1,470	—
自己株式の取得による支出	—	△115
配当金の支払額	△98,563	△180,407
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,465	△187,872
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	96,713	403,002
現金及び現金同等物の期首残高	2,001,899	2,658,578
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	87,234	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,185,847	3,061,580



(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

当社の事業セグメントは、CRO事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。